

1 全日本関係

(1) 総務本部関係

・会員登録について

平成26年度より会員登録の情報は年度内に会員登録されなかった場合、会員情報は資格情報とともにすべて削除される。また、翌年度以降に登録の申し込みをしても以前の情報は復活できない。会員登録は「新規」として新しい番号になる。会員番号は永久的なものではない。

競技者登録は会員登録をしないとできない。また、平成21年度以降1回でも登録した者は競技者番号を持っているのでその番号で更新登録を行うこと。

・スキー補償制度内容の変更

領収保険料と支払い保険料のバランスが著しく崩れ採算が伴わないためスキー保障制度維持のため保険料の値上げを行った。

・会員証のレイアウト変更

補償制度に加入した内容のみが証券番号の欄に表示される。また、競技者番号がSAJとFISに表示される。

・2014-2015シーズン競技者登録の料金改定日について

WEB申込についてのみ締め切りを9月30日まで延長、従来どおりの紙での申込は9月10日締め切り

・会員登録状況(26, 7, 4現在)

26年度会員総数 91, 868名(有料会員84, 869名)前年比97.6%

(2) 競技本部関係

・平成26年度トップアスリート助成対象者

トップアスリート年間240万円・・・対象者13名

ユースアスリート年間60万円・・・対象者12名

・海外遠征等の旅行社の選定

JTBに決定し清算関係は振り込みとする。

・アルペン競技に関する各種ルールについて

SAJ競第654号(26, 5, 30日付け)で加盟団体へ周知済み。美

公認A・B級大会に出場する選手のラディウス(男子35、女子30)。

ヘルメットはFISレースは新規規格ヘルメットだがSAJのA・B級大会については今シーズンは推奨するものとする。

・競技本部規定の改正

クロスカントリー競技種目パシュートがスキーアスロンに名称変更

公認セッターA受験資格が全日本スキー選手権大会、ジャパンシリーズにおいて10位までの入賞が3回以上の者に変更

・国民体育大会スキー競技会参加資格等について

都道府県大会に参加しこれを通過した者で当該都道府県からエントリーされた者でなければならない。この場合において「参加し」とはエントリーを行いスタートしたことをもって参加とみなす。

(3) 教育本部関係

・教育本部専門委員及び技術員について

西日本ブロックからの薦者は全員承認される。また専門委員も全員承認される。

会長推薦専門員については四国・九州からの2名も承認される。

・教育本部組織編成について

本部長に登山 一成、副本部長に五十嵐 憲雄、副本部長に増田 千春、山田 隆、八船 保夫、が就任、福岡からの宇野専門員は「研修委員会」に配置

・資格再登録者

5月31日締め切りで704件あった。昨年度は344件あった。

・日本インタースキー委員会について

- 7月14日開催 SAJ 3名、SIA 4名参加
- 2015年9月 アルゼンチン・ウシュアイア大会（初めての南半球での開催）
- ・教育本部規定の一部改正・廃止・制定について
 - イグザミナー制度の廃止
 - 研修会の責任者及び主任講師の兼務ができるようになった。
 - 夏季営業のスキー場のバッチテストの内規制定 など
- ・指導者研修会・検定クリニックの実施報告書書類の書式変更
 - 10月頃に各加盟団体に通知予定（報告名簿が2部に、役員用と修了者用に区分）
- ・仮称「2015年度資格検定受験者のために」の発行（10月発刊予定）
 - 内容の変わるものについてはスキー教程等に掲載しないことから、受験者のために年度ごとに出来るだけ安価で発刊したほうが合理的
- ・「新日本スキー教程」の発刊について
 - 2014, 10, 10発刊予定
- ・「日本スキー教程 技術編 自然で楽なスキー」はスキーマソッドが大きく変化したため廃版
- ・今年度の指導員検定受験者の単位受験者については12月10日までに本連盟あて申請すること

2 西日本ブロック理事会関係

(1) 事務局関係

- ・2014年度 SAJ 西日本ブロック事務局収支決算
 - 総収入 1,662,633 円 総支出 674,538 円 次期繰越金 988,095 円
- ・2015年度 SAJ 西日本ブロック事務局収支予算
 - 総収入 2,885,286 円 総支出 1,717,191 円 次期繰越 1,138,095 円
 - 予算の中で、幹事、強化部長、教育部長の出張旅費を組み込むことで予算だてる

(2) 強化部会関係

- ・2014年度強化部会収支決算
 - 総収入 2,953,144 円（未収金 SAJ 強化補助金 567,191 を含む）
 - 総支出 1,337,411 円 予備費（繰越金） 1,615,733 円
- ・強化部会行事報告（省略）
- ・SAJ 西日本ブロック強化指定選手 選考基準について
 - アルペン
 - A 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - B 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - C 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - W 指定 各府県連が推薦する者
 - クロスカントリー
 - A 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - B 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - C 指定 男子4名 女子4名（内1名は中学生） ポイントについては省略
 - W 指定 各府県連が推薦する者
- ・強化指定選手補助金及び大会参加基準
 - アルペン・クロス・スノーボー
 - A 指定選手 宿泊費合計の3割 リフト代1日につき1,500円 合宿参加費免除
 - B 指定選手 宿泊費合計の2割 リフト代1日につき1,000円 合宿参加費免除
 - C 指定選手 合宿参加費免除
 - ただし、スノーボーは参加費免除はなし、C指定は宿泊費1割を補助
- ・強化部会冬季合宿
 - アルペン
 - 期日 ① 2014, 12, 13～19（6泊7日）
 - ② 12, 13～26（13泊14日）
 - ③ 12, 20～26（6泊7日）

会場 韓国 ハイワンリゾートスキー場（前半）・アルペンシアリゾート（後半）
クロス

期日 2015, 3, 26～30

会場 富山県 たいらクロスカントリーコース

・強化部会2015収支予算書

総収入 2,385,953円 総支出 1,636,000円 予備費 1,064,895円

(3) 教育部会関係

・2014教育部会収支決算

総収入 5,787,274円 総支出 4,760,817円 次期繰越 1,026,457円

・スキー技術員研修会

期日 12月6日～7日 会場 奥神鍋スキー場

・教育部会強化合宿Ⅰ

期日 12月19日～21日 会場 戸隠スキー場

・教育部会ジャッジマン研修会

期日 12月19日～21日 会場 戸隠スキー場

・教育部会強化合宿Ⅱ

期日 2月14日～15日 会場 戸隠スキー場

・西日本ブロック指導員検定受験特別講習会

期日 1月17日～18日 会場 だいせんホワイトリゾート

・第36回西日本スキー技術選手権大会

期日 2月6日～8日 会場 奥神鍋スキー場

・全日本スキー連盟スキー指導者研修会・検定員クリニック開催（省略）

・2015教育部会収支予算

総収入 5,777,000円 総支出 5,777,000円 次期繰越 0円

(4) その他

・兵庫県スキー連盟創立80周年記念式典 26年11月9日 ホテルオークラ神戸

・平成27年度西日本ブロック春季理事会 5月16日 大阪商工会議所シティーホテル
春季会議はブロック理事等の改選時期になっている